



Rotary



2015-2016 年度

国際ロータリー会長 / K. R. ラビンドラン
2690地区ガバナー / 佐藤 芳郎

会長 / 河原 治子
幹事 / 清原 正幸

副会長 / 田中 浩史
会 計 / 田中 久雄

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
2月4日	北陵中学・高等学校 井上 美代 様	薙刀と私
2月11日	休 会	
2月18日	島根大学 法文学部 教授 上園 昌武 様	原発と再生可能 エネルギー
2月25日	国際奉仕委員長 内田節夫	国際奉仕について

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
45	31	14 (5)	77.5 %	80.05 %

■欠席者

飯塚俊 / 曾田 / 来間 / 石原俊 / 杉原 / 三好 / 園 / 園山 / 山口
(山根 / 牧野 / 木村 / 石原輝 / 大谷厚)

■来訪者

■メイクアップ

2/3 田中浩(大社)

■次回例会受付当番

(2月25日) 三好洋平 / 釜屋治男 / 加藤 昇
(3月8日) 土江光二 / 加藤喜久 / 黒田昌弘

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央 2/29	松江南
火	出雲	松江しんじ湖
水	大社	松江
木		松江東 3/31(休) 6/23 6/30(休)
金	出雲南	

■会長挨拶

日本画と和紙

長い間趣味として日本画を描いてきた。

絵を描くことは心の中の言葉を表現すること、それにはまず、えのぐ、筆、刷毛、にかわ、水などの他に一番の材料は紙。この紙こそ和紙である。ある人の云う、日本人は、和紙好きの遺伝子があるのではないかと。洋紙は加工されていて、和紙とはまったく感覚が違い、美しさ、手ざわりがやわらかい。楮(こうぞ)、三桮(みつまた)と云う落葉低木を使い漉き紙は、えのぐにぴったりと合う。

レンブラント(世界的画家 1605-1668)や、近代では、ピカソ、ムンク、ドガ、など積極的に和紙を求めて銅版画の下絵紙又、マチュールとして使われている。横山大観、菱田春草、下村観山、平山郁夫など和紙の最高のものを使って、傑作が出来上がっている。

江戸時代では、忍者や火消しは和紙で作った草鞋を履いていた。ぬらせばぬらす程強くなる証明でもある。

ただ和紙も今ではコストを安くするため、まぜ物もある。ドンゴロスの様なボロボロの布にでも作品は確かに描ける。しかし何が違うかと云えば、和紙は何百年たっても、えのぐが剥げにくい、変色も少ない。欠点は、印刷が難しいし又、価格が高い。洋紙はその点コストが安い。印刷が抜群！諸々のことに使いやすい。

今、和紙の需要も少なく技術者がいない。島根県は桜江町にただ一人、この技を伝える人が頑張って手づくりをされている。

絵を描く者として、応援し、守ってあげたい。

■幹事報告

1. 周年のご案内

☆ 大社 RC (創立 55 周年記念例会)

日 時 3月26日(土) 17:30 ~

場 所 アンジェグレースガーデン (出雲市浜町)

会長・幹事出席致します。

☆ 出雲中央 RC (創立 25 周年記念式典)

日 時 4月10日(日) 受 付 15:00~16:00

式典・講演 16:00~17:30

祝 賀 会 17:40~19:20

会 場 出雲口イタルホテル

会長・幹事出席致します。

2. 熊平雅人様より「抜粋のつづり 75」を頂きましたので配布致します。

■理事会決定事項

石原輝男会員より入院加療のため、出席免除願いがあり承認致しました。

■委員会報告

出席親睦委員会 :

2月の会員誕生・伴侶誕生・

結婚記念 祝い



■スマイル

河原 (井上様、ようこそ平田ロータリークラブへおいで下さいました。)

清原 (井上美代先生、本日は宜しくお願い致します。)

釜屋 (井上美代様、本日のスピーチよろしくお願いします。)

佐々木 (インフルエンザが流行期になりました。御注意下さい。)

■スピーチ・例会行事



「薙刀と私」 北陵中学・高等学校 井上 美代 様

薙刀(なぎなた)は、あまり知られていない競技で、防具を着けておこなう試合競技と防護具をつけずに型を競う演技競技があります。薙刀の長さは2m25cmと竹刀に比べ長く、扱いが難しいという違いがあります。

島根県なぎなた連盟は、近年、世界なぎなた選手権への2名出場、全日本なぎなた選手権大会での優勝4回(安喰選手)、国民体育大会での団体2連覇(安喰・井上・釜屋の3名)など、おかげさまで他県にも勝る戦跡を修めることができています。

私は斐川町出身で、中学校まで剣道をしていましたが、お誘いを受けて北陵高校に進学し薙刀を始めました。5年前から、当時の恩師である板垣勇先生の後任として北陵中学・高校で生徒の薙刀指導をおこなっています。競技人口が少ない中、松江市の島根県立武道館で安喰さんが現時点で指導している小中学生15人の中から、来年度初めて北陵高校に進学することが決まっています。

